TRAJECTORY ADJUSTMENT SYSTEM
LABOSPEC
- 取扱説明書 -

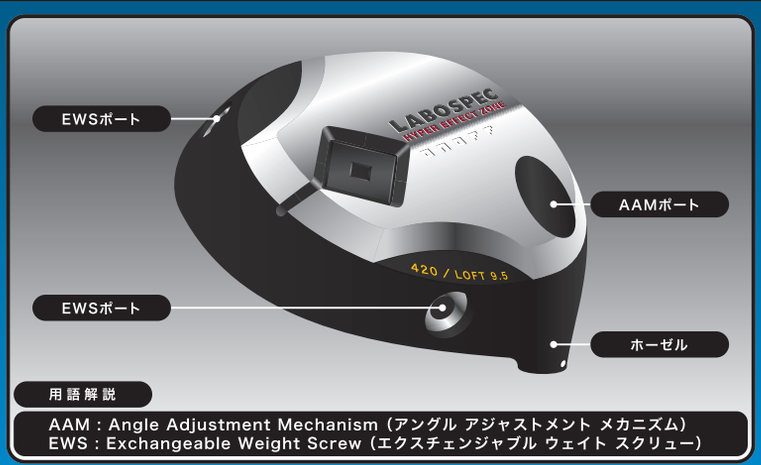
ONOFF golf matters

はじめに ▶ この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品はクラブヘッドとシャフトを着脱調整したり、
クラブヘッドのウェイトビスを交換する事で、弾道を調整することができます。
調整方法についてはマニュアルをよくお読みになり、事故の無いようにご使用ください。
クラブの取り扱い方法につきましては、ゴルフクラブの取り扱い説明書をお読みください。

グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16
スポーツ営業本部・ゴルフ営業部
TEL:042-479-7730

本体 各部名称

PAGE : 1



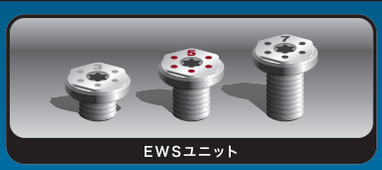
用語解説

AAM : Angle Adjustment Mechanism（アングル アジャストメント メカニズム）
EWS : Exchangeable Weight Screw（エクスチェンジャブル ウェイト スクリュー）

各付属品名称

PAGE : 2

LABOSPEC専用トルクレンチ


EWSユニット

AAMアルミホーゼル

AAMスクリュー

ワッシャー

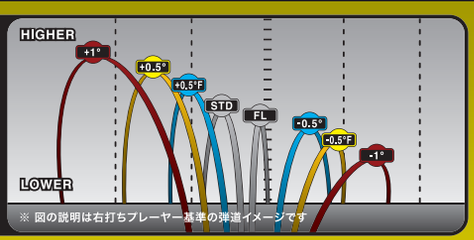
ラバーリング

クラブのセッティングの手順

簡易説明 PAGE : 3

STEP : 1

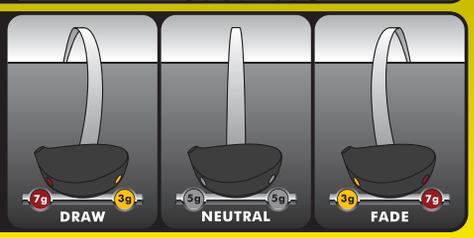
AAM アルミホーゼルでロフトの調節
（８つのポジションから選択できます）



※ 図の説明は右打ちプレーヤー基準の弾道イメージです

STEP : 2

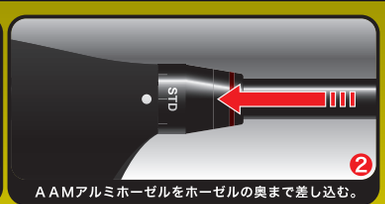
EWS ウェイトスクリューで弾道を選択
（９つのポジションから選択できます）



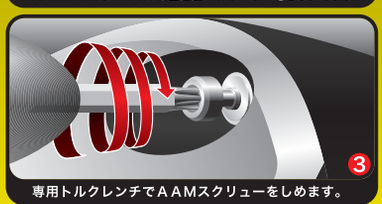
クラブヘッド調角操作の手順

簡易説明 PAGE : 4

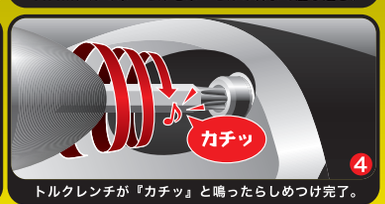
AAMアルミホーゼルの希望位置のラインと『●』を合わせます。



ＡＡMアルミホーゼルをホーゼルの奥まで差し込む。



専用トルクレンチでＡＡMスクリューをしめます。

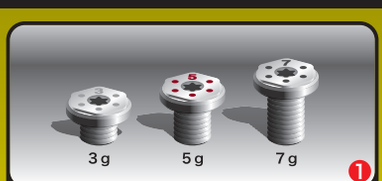


トルクレンチが『カチッ』と鳴ったらしめつけ完了。

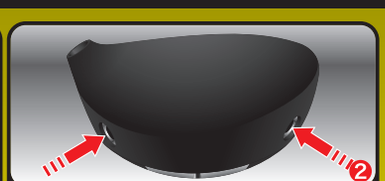
AAM アルミホーゼルのセットポジションを変えることにより、細かいロフト調節が出来ます。
クラブヘッド調角の詳しい説明については、PAGE : 7～8 をご覧下さい。

EWSユニット交換の手順

簡易説明 PAGE : 5



希望の重さのＥＷＳユニットを２つ選びます。



２つのＥＷＳポートにＥＷＳユニットを装着します。

専用トルクレンチでＥＷＳユニットをしめます。

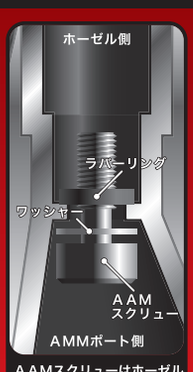
トルクレンチが『カチッ』と鳴ったらしめつけ完了。

EWS ユニットの組合せを変えることにより、細かい重心位置の調節が出来ます。
EWS ユニットの詳しい交換方法については、PAGE : 9～10 をご覧下さい。

シャフト着脱時の注意事項

PAGE : 6

ＡＡMアルミホーゼルは工場出荷時にはすでにシャフト先端に固定されています。



ＡＡMスクリューはホーゼル内側のラバーリングにより、ＡＭＭポート内に残ります。

ＳＴＤポジションに正しく装着されている状態です。

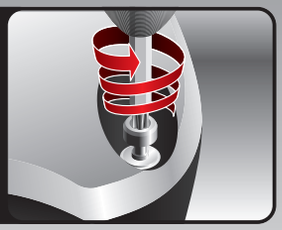
シャフトが正しく装着されていない状態ですので、左の図のようにＡＡMアルミホーゼルを、ホーゼルの奥まで挿入してください。

ロフト、ライ角変更の操作手順

詳細説明 PAGE：7

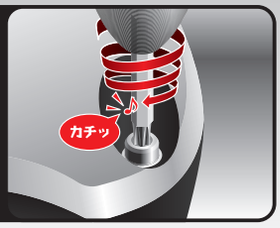
ヘッドの仕様を変更するには、LABOSPEC 専用トルクレンチの先をヘッドのソールに配置された AAM ポートに取り付けてある AAM スクリューの六角（星形）の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。

片手で LABOSPEC 専用トルクレンチをしっかりと持ち、もう片方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、AAM スクリューを時計回りとは逆に回転させて緩めて下さい。その際、AAM スクリューはラバーリングによりヘッドから外れず、AAM アルミホーゼルはシャフトごとホーゼルから取り外す事が可能です。



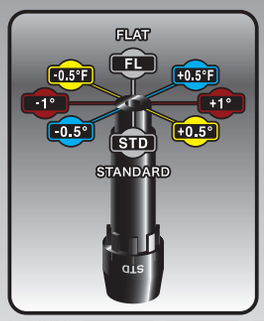
次に選択したポジションをホーゼルに記された『●』に合わせます。AAM アルミホーゼルの付いたシャフトを先端部分が完全にホーゼル内に入って見えなくなるまで差し込みます。

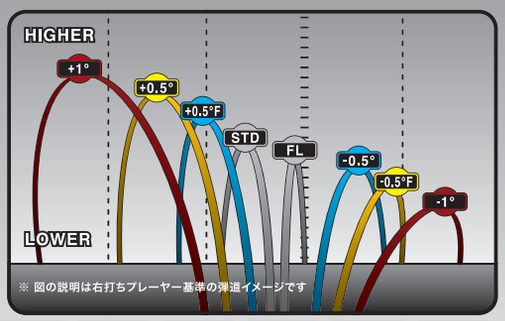
LABOSPEC 専用トルクレンチを用いて AAM スクリューを時計回りに締め付けて AAM アルミホーゼルをヘッドに装着して下さい。
AAM スクリューが完全に取り付けられたことを知らせる、カチッというレンチの音が聞こえるまで、しっかりと回転させて下さい。
（AAM アルミホーゼルは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定出来るよう設定されています。
LABOSPEC 専用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これは AAM アルミホーゼルの固定に必要なトルク量で締め付けられるレンチ、という意味です。）



シャフトポジションと弾道特性

詳細説明 PAGE：8





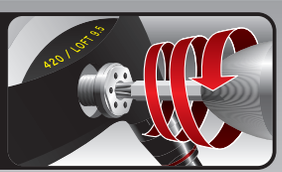
STD基準値
LOFT：9.5°
LIE：59°

	STD	+0.5°	+1°	+0.5°F	FL	-0.5°F	-1°	-0.5°
LOFT	±0°	+0.5°	+1°	+0.5°	±0°	-0.5°	-1°	-0.5°
LIE	±0°	-0.5°	-1°	-1.5°	-2°	-1.5°	-1°	-0.5°
FACE ANGLE	STRAIGHT		CLOSE		STRAIGHT		OPEN	

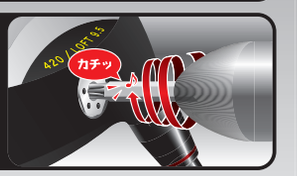
EWSユニットの交換方法

詳細説明 PAGE：9

EWS ユニットを EWS ポートから取り外すには、専用トルクレンチの先を EWS ユニットの六角（星形）の穴の形状に合わせて、まっすぐ差し込みます。片手で専用トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、EWS ユニットを時計回りとは逆に回転させてください。ネジがゆるみ EWS ユニットが完全に外れたら EWS ポートから取り出します。



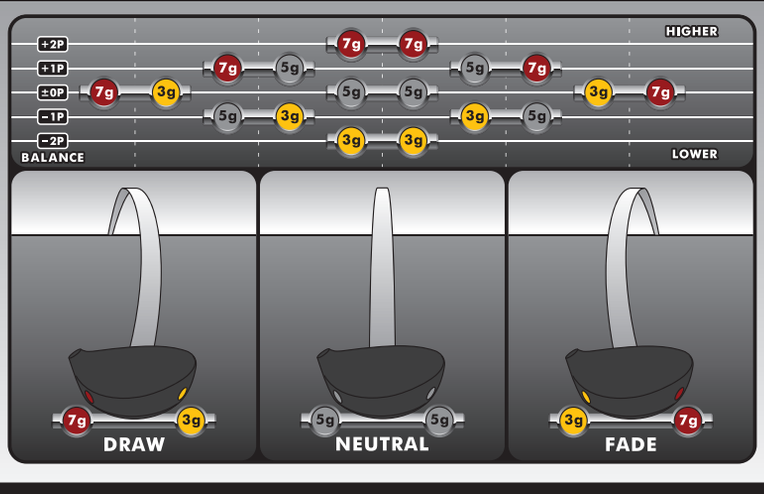
EWS ユニットを EWS ポートに取り付けるには、専用トルクレンチを用いて、EWS ユニットを時計回りに回転させ、EWS ユニットを EWS ポートに装着してください。完全に取り付けられたことを知らせる専用トルクレンチのカチッという音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。EWS ユニットは、特定のトルクまで締め付けることにより、完全に装着できるよう設定されています。



弾道を調節するには、トゥ側の EWS ポートよりもヒール側の EWS ポートに重めの EWS ユニットを装着すると、ドロー（左曲がり）の傾向が強くなります。 逆にヒール側の EWS ポートよりもトゥ側の EWS ポートに重めの EWS ユニットを装着すると、フェード（右曲がり）の傾向が強くなります。 トゥ側とヒール側の EWS ポートに、同じ重さの EWS ユニットを装着するとニュートラルになります。
また、３種類の重さの EWS ユニットを組み合わせることにより、様々な弾道調整が可能になります。

EWSユニットの組合せ

詳細説明 PAGE：10

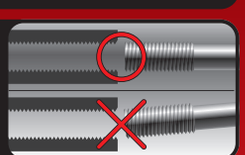


損傷事故を防ぐ為に

注意事項 PAGE：11

AAM スクリューとシャフトに固定された AAM アルミホーゼル、
及び EWS ユニットと EWS ポートの損傷を防ぐ為、以下の注意事項を守って下さい。

取り付け作業時に、AAM スクリューのネジ山と AAM アルミホーゼルのネジ溝、及び EWS ユニットのネジ山と EWS ポートのネジ溝が、まっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、各パーツの取り外しや取り付けが出来なくなります。



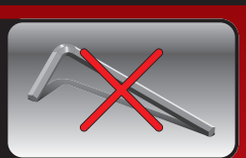
取り外し、取り付けの最中には、トルクレンチの先が AAM スクリューや、EWS ユニットの六角（星形）の穴に完全に、そしてしっかりと挿入されていることを確認してください。トルクレンチとクラブヘッドをしっかり支え、トルクレンチの先端と六角（星形）の穴が常に垂直になる様に気をつけてください。

取り付け中、AAM スクリューや、EWS ユニットが完全に取り付けられたことを知らせるトルクレンチのカチッという音が聞こえたら、トルクレンチの締め付け回転をやめてください。

損傷や事故を防ぐ為に（続き）

注意事項 PAGE：12

LABOSPEC 専用トルクレンチ以外の工具による取り外しや取り付けを行わないでください。六角（星形）のネジ穴がつぶれたり、または接続部分が破損したりすることを避ける為です。
ネジの緩みや破損の原因となり、クラブを正しく使用することが出来なくなります。



プレーまたは練習の前には、毎回クラブヘッドを注意深く点検し、AAM スクリューや、EWS ユニットが正しく装着されていることをご確認ください。AAM アルミホーゼルが AAM ポートに、EWS ユニットがすべての EWS ポートに適切に装着されていない場合には、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが守られない場合、次の様な状況を引き起こす可能性があります。

（１） 土、ほこり、湿気、異物などが AAM アルミホーゼルのネジ穴、ホーゼル内部、EWS ポートのネジ穴の隙間に、入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があり、AAM アルミホーゼル、EWS ユニットの再装着を困難、あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼルの内部に損傷が生じ、結果として、クラブの性能に悪影響を与えることにもなりかねません。土、ほこり、異物などが入り込んだ場合には、ブラシなどでそれらを除去してから装着するようにしてください。

（２） AAM アルミホーゼルがホーゼルに、EWS ユニットが EWS ポートに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドや EWS ユニットが外れ、事故に繋がる可能性があります。

保管・お手入れ方法

注意事項 PAGE：13

（１） AAM アルミホーゼルや、EWS ユニットの取り外しは、仕様変更と調整をする場合のみ行ってください。それ以外の場合は AAM アルミホーゼルのネジ穴、ホーゼル内部、EWS ポートのネジ穴への異物侵入を防ぐため、クラブ保管時も含めて常時、各パーツを正しく装着したままにしておいてください。

（２） クラブヘッドのお手入れ時またはその他いかなる場合においても、ホーゼル、AAM アルミホーゼル、EWS ポートのネジ穴に液体が侵入しないように注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、AAM アルミホーゼルや、EWS ユニットがすべて装着されていなければなりません。

（３） AAM アルミホーゼルや、EWS ユニットの取り外しと取り付け時には、ヘッドのホーゼルや EWS ポートの穴からヘッド内部に異物が侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたりした AAM アルミホーゼルや EWS ユニットはそのまま装着せずに、やわらかい乾いた布などで完全に拭き取ってからご使用ください。

（４） ホーゼル、AAM ポートのネジ穴、EWS ポートの中に異物が入った場合、各ネジ穴の底やヘッド内部に異物が落ちないように、ネジの穴が下を向くように持ち、きれいな布で取り除いてください。

（５） シャフトに装着された AAM アルミホーゼルの先端のネジ溝、AAM スクリューのネジ山、EWS ユニットのネジ山、EWS ポートのネジ溝には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。潤滑剤が必要とされることはありません。

（６） シャフトに装着された AAM アルミホーゼルの先端及び AAM スクリューのネジ山、EWS ユニットのネジ山は、研磨したり、ヤスリにかけたりするなどのいかなる改造や変更も決して行わないでください。各パーツの適切な装着が妨げられ、ヘッドや EWS ユニットがスイングの最中に外れる可能性が生じます。その結果、ご自身や周りの人が負傷する恐れがあります。

（７） ラバーリングで止められている AAM スクリューは、無理に取り外さないでください。

ゴルフ規則について

注意事項 PAGE：14

EWS ユニットを外したままのプレー、
及びラウンド中に AAM アルミホーゼルポジションの変更、EWS ユニットの交換を行わないでください。

（１） ONOFF のシャフトが脱着できる製品、及び EWS ユニットの取り外しが出来る製品は、米国の USGA 及び英国の R&A による「ゴルフ規則」を遵守しています。
しかし、ラウンド中におけるシャフトポジションの変更や、EWS ユニットの取り外しや取り付けをする行為は、規則第４条２ａ項「正規のラウンド中、クラブ性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。」という規則に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。

（２） 穴の開いたクラブヘッドは、USGA と R&A による「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。
附則第Ⅱ条４ａには以下のように規定されています。

「クラブヘッドの形状は大体において単純なものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢（rigid）で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の用件に反するものとみなされ、したがって規則上許させないものの例として、（ａ）クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれる。」